

はねっと 5

仙台市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



一歩踏み出す気持ち芽生える「ワクワクビト」

「人」が東北、仙台の魅力をつくる

enspace コミュニティマネージャー / 似顔絵屋

いとう さゆり
伊藤 小百合 さん (37)

仙台市内を観光する人を見かけると、伊藤さんは「よかったら写真撮りましょうか?」と声を掛けます。手渡されたカメラを構え、「ハイ、マサムネ～」と笑顔を誘います。「仙台の人って親切だったね、と思って帰ってもらいたくて」。行動の背景にあるのは、そのまちに暮らす人たちのアクションが、まちの魅力をつくるという考えです。

「仙台は新しいことにチャレンジできるまち。面白い人たちがたくさんいます」と話す伊藤さんには、2つの顔があります。1つ目は、青葉区国分町にあるシェアオフィス・コワーキングスペースのコミュニティマネージャーです。仙台から全国に向けて、新たなビジネス創造に挑戦する人たちに応援しています。伊藤さんの役割は、業務提携する全国のコワーキングスペースを回り、仙台の入居者の事業への思いや強みを発信したり、外の資源やアイデアを持ち帰ったりすること。「勝手に東北代表だと思って、企業さんの魅力を伝えていきます」と伊藤さん。情報や人の橋渡し、新たな価値や利益を生む協業につながることもあります。2つ目は、カリカチュアという、人の特徴をユーモアたっぷりに誇張して描く画風の「似顔絵屋さん」です。主な活動先は、まちなかで行われるイベント。「人が好き」と話す伊藤さんが、「あなたに関心がある、知りたい」と思って繰り出す会話は、お客さんのキャラクターを引き出します。「絵と会話を通じて相手を喜ばせることができるのが醍醐味。似顔絵を介した私との記憶が、このまちの魅



力のひとつになれば」と思いを込めます。

「仙台の人って面白いよね」「東北っていい人が多いよね」と言われたとき、伊藤さんは、そう思われるアクションをした「誰か」に思いを馳せます。「私の活動も、その誰かの行動の延長にある」。このまちを好きになってもらうためにする行動のすべてが、まちづくりです。

enspace

仙台に拠点を置くenspace株式会社が運営するシェアオフィス・コワーキングスペースです。“Glocal Factory”をコンセプトに、地方にしながら多様な働き方や生き方ができる社会を目指しています。青森県出身で、絵が大好きだった伊藤さんが将来の夢を考えたとき、選択肢は多くありませんでした。次の世代の人が、自分らしい生き方で地方に残る。そんな選択ができる環境をつくることは、伊藤さんの願いでもあります。



▲enspace HP



▲伊藤さんが描くカリカチュア



▲入居者と気さくに話す伊藤さん



市民活動団体を紹介「市民活動突撃レポート！」

人もペットも安心して暮らせる社会へ

ペットの飼い主が高齢になり、病気になったり、亡くなったりした時、ペットが行き場をなくしてしまうことがあります。引き取り先がないと、ペットの遺棄、殺処分、餓死、飼育崩壊などに陥ることも。NPO法人ペット終活サポートネット宮城は、これらの望まない結末を防ごうと活動しています。

飼い主自身が、十分な世話ができなくなった時のことをあらかじめ考えておく「ペット終活」を促進。相談対応や情報発信を行っています。自身も猫と暮らす、代表理事の齋藤まり子さんは、「ペットのことを1番考えられるのは飼い主さん。万が一、何かが起きてから対応するのでは遅いと考えています」と力を込めます。ペット終活自体を知ってもらうことを目的に、セミナーを開いたり、イベントに出店したりして「早めの備え」を呼び掛けます。ペット終活に不安を抱え、相談に来るのは、一人暮らしの高齢者だけではありません。理事の菊池信恵さんは、「コロナ禍で疎遠だった親に会ったら、認知症になり、ペットの世話ができなくなっていたと相談に来る方もいます」と話し、周囲の人にも影響が及ぶ現状を指摘します。相談では、ケースに合わせ、家族へ遺言を残したり、飼育費用を残したりする方法を提案し、行政書士を紹介します。また、

ペットと入居できる高齢者施設があることや、ペットの次の飼い主となる里親を探すなどの方法を伝えることもあります。

しかし、飼い主の元を離れざるを得ないペットの里親を探すのは、容易ではありません。里親が見つからない原因の1つは、獣医療の発展やフードの改善による長寿化のため、ペットも高齢な場合が多いこと。今後、団体では、高齢のペットや引き取り先のないペットの一時預かりができるペットサロンの開設を考えています。目指すのは、いつになっても、人もペットも共に安心して暮らせる社会です。



▲シニアペットの介護予防や健康相談のセミナーも開催

NPO法人ペット終活
サポートネット宮城

HP▶



～読者の目線から～社会の「気になる○○」

eスポーツの可能性を広めたい！

私も息子もゲーム好きなきっかけで、eスポーツに関心を持ち、私は、いついっちゃんねる「eスポーツで課題解決する現場から」の公開収録に参加しました。eスポーツを「所詮、ゲームなんでしょ?」と思いませんか?eスポーツには、場所、年齢、性別、障害を問わないという特徴があります。ボーダレスな特徴を活かし、高齢者の繋がりづくりなどにも活用されている素晴らしいスポーツです。eスポーツの魅力を発信することが私なりのアクションです。

(糸賀修平さん 仙台市青葉区 40代)



▲ニュースサイト
TOHOKU360と
サポセンによる
YouTube番組
「いついっちゃんねる」

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 5月8日(水)、22日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター

(指定管理者: 特定非営利活動法人
せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2024年5月1日

デザイン PEACE Inc.

[X(エックス)]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

